

## CAPプログラムと連動したアドボケート派遣事業 2024年度 にじいCAP実施記録



特定非営利活動法人にじいキャップ

2

## はじめに

■地域を「こども中心」の文化にチェンジするきっかけづくりの1つとして、全国にあるCAPグループが実践できる提案の方法をご紹介します。

■CAPスペシャリストにとっては当たり前かもしれないことかもしれませんが、CAPプログラムをご存知でない方にとっても一助になればと用意しました。。

3



自己紹介

4

## にじいグループ

にじいCAP (福岡)  
さがこまち (佐賀)  
くまこまち (熊本)

1999年 にじいCAPを立ち上げ  
年間99回のワークショップを実施

2024年度 福岡・佐賀・熊本を中心にさまざまなプログラムを活用して学校での授業を実施。対象者に合わせたプログラム開発をしている。年間に約1000回を実施。

## 子どもアドボカシー事業

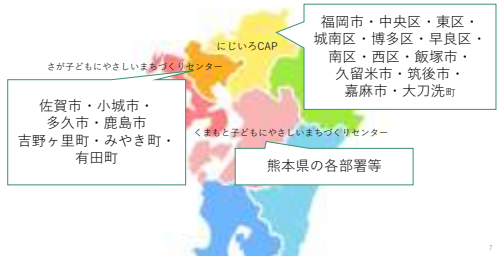
SOSの出し方教育 (文部科学省)  
子どもの意見表明支援 (厚生労働省)  
それらの人材育成に努める。



5

CAPプログラム等を活用した  
“SOSの出し方教育”を  
自治体まるごと  
予防教育に取り組んでしました

6



7

子どもが大人と話す練習タイム（トークタイム）

年間に子ども  
約16,000人の声を  
聴きます。



25年

8

アメリカで開発された  
CAPプログラムにおける  
トークタイムは・・・



9

教職員ワークショップ

大人たちと目的や手法について  
合意していく

地域保護者ワークショップ

心理的安全性のある時間にするための理  
解づくりを先生と打合せ

担任教諭と事前打合せ

意見形成支援

子どもワークショップ

いじめ→誘拐→知っている大人からの性被害→相談

子どもが大人と話す練習タイム（トークタイム）

担任教諭と振り返り

意見表明支援

10

お話したい人は、別室に来てね？！



11



12



13

話したい「おとな」を子どもが選ぶ  
 ≒200,000人の子どもたちの声を聴いてきました



14

CAP = キャップ  
 Child チャイルド  
 Assault アサルト  
 Prevention プリベンション  
 子どもへの暴力防止

15

CAP = キャップ  
 Child チャイルド  
 Assault アサルト  
 Prevention プリベンション  
 子どもへのさまざまな権利侵害を防止する活動

16

CAP（キャップ）＝ぼうし＝防止

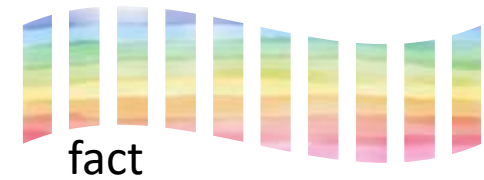


こじらせないための活動

17



18



fact

日本の現状を数字で見える

19

- 児童虐待相談対応件数 ≒22万件
- 不登校 ≒34万人
- 児童虐待死亡推定件数 ≒350～500人
- 児童生徒における自殺者数 527人
- 子ども若者の自殺者数 ≒6000人
- 自傷行為 児童生徒の≒17%

20

- 18歳になるまでに性被害に遭う  
男子は10人1人  
女子は2.5人に1人  
(日本性科学情報センター「子どもと家族の心と健康 調査報告書」)

21



ACEサバイバー  
ー子ども期の逆境に苦しむ人々ー  
ちくま新書  
著 三谷はるよ

22

### 子ども期の逆境的体験 (ACE)

- 子ども期に逆境的体験が多いほど、人は社会的、情動的、認知的な問題を抱える可能性が高まり、その結果として喫煙、暴飲暴食の生活習慣の乱れや、薬物依存などの危険行動が増加し、疾病罹患や事故、犯罪による社会不適応をきたして 早世(early death)の可能性を高めてしまう、フェリッツィら

著者：三谷はるよ ACEサバイバー ー子ども期の逆境に苦しむ人々ー

23

### ACE (子ども期の逆境的体験) Adverse Childhood Experience

1. 親や同居する大人が、あなたを叩いたり殴ったりした (身体的虐待)
2. 親や同居する大人が、あなたを罵倒したり侮辱したりした (心理的虐待)
3. 5歳以上年上の人や大人が、あなたに性的に触れたり、性行為を強いたりした (性的虐待)
4. あなたに十分な食事や衣服を与えたり、医者に連れて行ったりしてくれる大人がいなかった (身体的ネグレクト)
5. あなたを安心させ、守ってくれる大人がいなかった (心理的ネグレクト)
6. 両親が、別居または離婚をした (親との別離)
7. 親や同居する大人が、叩いたり殴ったり、殴り合ったりしていた (近親者間暴力)
8. アルコール問題を抱えている人や薬物を乱用する人と同居していた (家族のアルコール・薬物乱用)

著者：三谷はるよ ACEサバイバー ー子ども期の逆境に苦しむ人々ー

24

### PCE (子ども期の良い体験)

Positive Childhood Experience

- 家族に気持ちを打ち明けることができた
- 困難な時に家族が味方になってくれた
- 家の中で大人に守られ安心していた
- 親以外で自分に心から関心を持ってくれていた人が少なくとも2人はいた
- 高校で帰属意識を持てた (不登校や自宅学習者は除く)
- 友人から支えられていると感じた
- 地域の伝統行事に楽しく参加できた

著者：三谷はるよ ACEサバイバー ー子ども期の逆境に苦しむ人々ー より

25

## 子ども期の保護体験 (PCES)を増やせ！

※孤立を減らすこと  
※安全な依存先を増やすこと

26

## 権利として知らせる情報 「〇〇してもいいんだよ！」

- ・暴力（人権侵害）は、圧倒的な力の不均衡の中で起きる
- ・暴力は「知らない人」からではなく、ほとんどは知人、身内
- ・暴力は「いや」と言えない
- ・暴力は「秘密」にさせられる
- ・暴力は被害者が恥だと感じ、責任を感じ、罪悪感を抱える
- ・だから暴力は、積極的に聴こうとする大人がいないところではより深刻化し、なかったことにされやすい
- ・暴力は起きてから対処することでは防ぐことができない。暴力には「予防教育」が最も有効な手段である。

27

## 子どもが持っている特別に大切な3つの権利



28

いじめ・連れ去り・性暴力等  
被害を受けると奪われる感覚

不安

無力

孤立

29

いざという時の自分の身を守る行動



「〇〇してもいいよ」権利として伝える

30

いざという時の自分の身を守る行動



「〇〇してもいいよ」権利として伝える

31

## 誰かにSOSを出せること

## •犬に話すと安心

犬は最後まで聴く  
犬は黙って聴く  
嬉しそうに聴いてくれるから



「いやなことや、困ったことが起きた時  
あなたは誰にお話しするの?」という質問に対し  
て「犬に話す」という子どもたちがいます。  
その理由は上記の3つだそうです。

## 誰かにSOSを出せること

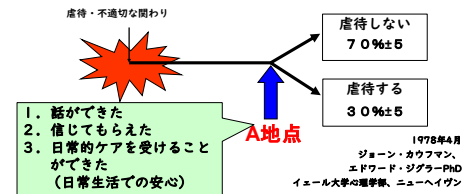
## •犬に話すと安心

犬は最後まで聴く  
犬は黙って聴く  
嬉しそうに聴いてくれるから



子どもが  
望んでいる  
リアル

## 危機にある子どもに答えるために



## 二次被害を防ぐ「おとなたちの知識」が必須

- よく話してくれたね。ありがとう。
- 信じるからね。
- あなた（被害を受けた人）は、悪くない。
- いっしょに考えよう。



## 二次被害を防ぐ「おとなたちの知識」が必須

- よく話して
- 信じるか
- あなた（被害を受けた人）は、悪くない。
- いっしょに考えよう。

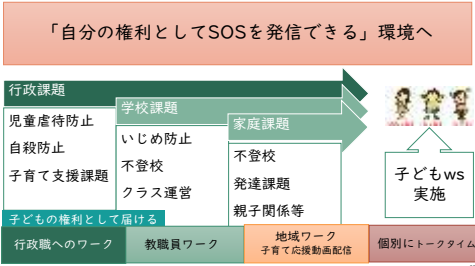
地域の当たり前を  
変えていく



子どもの命に  
責任を持つのは？

37

37



38



39

## サザエさん 昭和20年～30年代

昭和20年代30年代の家族の象徴であったサザエさん一家です。どんなに忙しくても夕方に家に帰ればご飯ができて、お風呂が湧いている家庭です。専業主婦が2人いますし、夫2人もほぼ定時で帰ってきます。飲んで帰ってきた時も「酒のおかげで食べさせてもらってると思っているんだ」と逆ギレをする。ドメスティックバイオレンスの夫たちではありません。3歳のタラちゃんはずっと走り回って物を壊したりしません。誰よりも落ち着いている？！…

©長谷川町子美術館  
<https://www.fujits.co.jp/sazae-san/intro.html>

40

## 昭和21年生まれ フグタ タラオ

昭和35年～36年ごろ14～15歳  
当時の「タラちゃん世代」の  
少年による凶悪犯罪はピークを迎えます。

現在タラちゃんは、昭和21年生まれの79歳  
「磯野家の謎・おかわり(集英社文庫)」による情報

© <https://natalie.mu/eiga/gallery/news/514373/2005880>

43

## ちびまる子ちゃん

## 昭和40年～50年代

まる子ちゃんの家は、サザエさん同様に祖父母との同居ですが、夫ひろしさんのご両親です。とっても優しい祖父母ですが、家事はなさっていません。その昔「膳屋部屋」と呼ばれていた自分の部屋で大半を過ごしていらっしゃいます。夫ひろしさんは家事を「手伝う？」どころか日曜日は朝からテレビの前に陣取り、一歩も動かずに妻を呼びつけています。

現在まるちゃんは、昭和38年生まれの62歳

©さくらプロダクション/日本アニメーション  
<http://chibimaru.tv/about/>

45

現在のび太くんは、昭和39年生まれの61歳

## ドラえもんち「のび太くん一家」

いかにも4人家族の種族に見えるが、ドラえもんは「猫型ロボット」です。ひとりっ子のび太くんは3人家族です。そんなのび太くんも、今年、61歳になります。

<https://animeanime.jp/article/mg/2020/05/09/53521/332587.html>より引用

47

## クレヨンしんちゃん「一家」

クレヨンしんちゃんは、父「ひろし」と母「みさえ」と妹「ひまわり」の4人暮らしです。埼玉県春日部市に住んでいます。しんちゃんは今、ちょうど子育て世代の親たちの世代です。

長らく日本では、「しんちゃんち」のように1人有職・1人無職・児童2人を「標準世帯」と定義していました。2018年度にはその%がわずかに4.6%にまで減少していました。

(日本経済新聞掲載：シンエイ・テレビ朝日・ADK 資料提供より)

現在しんちゃんは、昭和62年生まれ38歳です。

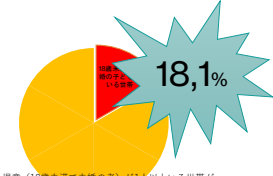
[https://www.dr.co.jp/report/column/20180710\\_010074.html](https://www.dr.co.jp/report/column/20180710_010074.html)

©臼井義人/双葉社・シンエイ・テレビ朝日・ADK  
<http://www.city.kasukabe.lg.jp/shisei/pr/ouen/index.html>



令和の現実

## 子どもがいる世帯は全世帯のうち、何%？



そして2023年には、いわゆる児童（18歳未満で未婚の者）が1人以上いる世帯が、全世帯の18.1%にまで激減しています。  
問題は、数字だけでなく、このリアルな現状を感覚的にどのくらいの人たちがアップデートできているのか？ではないでしょうか。

49

50

51

もしサザエさんが令和の時代に  
マスオさんとタラちゃんの3人暮らしをしていたら？！  
もしマスオさんと離婚し  
シングルマザーとしてタラちゃんを育てていたら？！  
もし再婚をしてタラちゃんに  
弟や妹ができていたら？  
もし波平さんやふねさんの介護をしなければ  
ならなくなったら？！



<http://www.sazaezan.jp/characters.html>

54

## 令和の現実を直視していきましょう。

これらの家族を取り囲む時代の変化によって子どもたちから奪ってきただけものがあります。



<http://www.sazaezan.jp/characters.html>

55

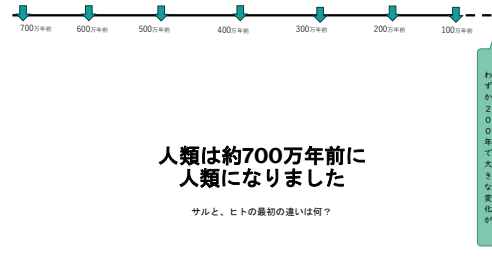
子どもから  
「話す人」「話す機会」「話す楽しみ」を奪って  
しまった戦後（近代家族主義）



56



57



58



59



自分で養育者に近づける状態で生まれる哺乳類

60

しかし、人間は...



61

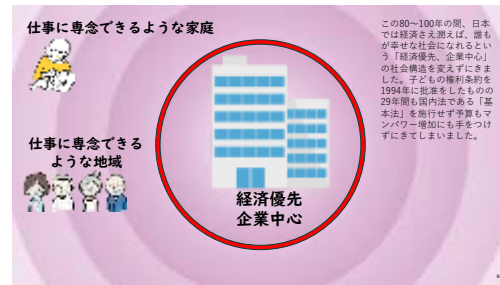


数年間も自力で逃げられない人間の赤ちゃん

62



63



64



65

こども  
まんなか

社会の実現をアタッチメント理論を基に  
めざします

66

### John・Bowlby

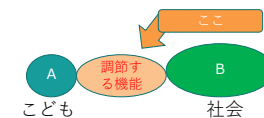
アタッチメント理論 (Attachment theory) は、心理学、進化生物学、生態学における概念であり、人と人との親密さを表現しようとする愛着行動についての理論である。子どもは社会的、精神的発達を正常に行うために、**少なくとも一人の養育者と** **親密な関係を維持しなければならず、**それが無ければ、子供は社会的、心理学的な問題を抱えるようになる。愛着理論は、心理学であり**精神分析**学でもある**ジョン・ボウルビー**によって確立された。



67

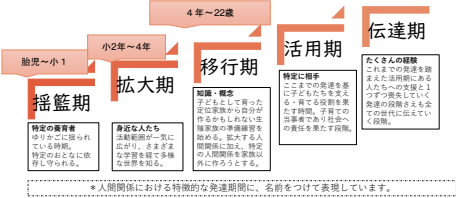
### 人間は「アタッチメント」を発達させる

アタッチメントとは人が多様な社会で円滑な生活を送るために、人と社会に対して模倣なく信じ、頼れる力を形成するための基礎となるもの。



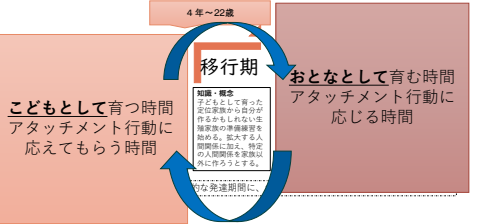
68

アタッチメント理論からみた生涯発達

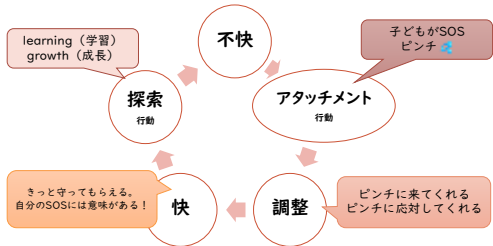


69

アタッチメント理論からみた生涯発達



70

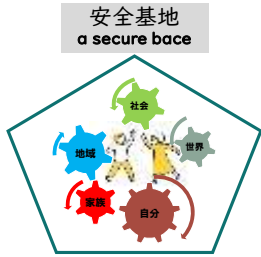


71

特権ではなく、当たり前に「権利」を！  
「権利を奪わないで」

子どもたちに特権を与えましょう。優遇しましょう、といった短絡的なイメージではなく、1人の人間として当たり前持っている人権をただ子ども、というだけでおとなやおとな社会が、奪ってきた事実を自覚し、人の権利を奪わずに養育、教育、療育等の中においても対話をもってパートナーシップをとっていきましょう。

72



73

A secure base 1988年 ジョン・ボウルビィ

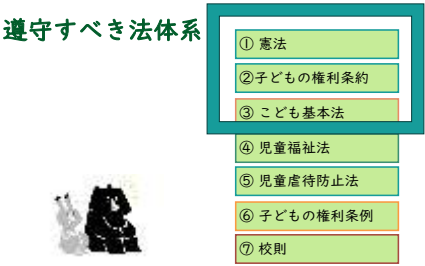
私たちが危急の際には、きっと進んで助けてくれるだろうと確信している親しい誰かに常に容易に近づくことができるという状態にあることは、私たちにとって明らかに素晴らしい保護なのである。たとえば、いくつになっても・・・。

John Bowlby, 「A Secure Base: Clinical Applications of Attachment Theory」, TAVISTOCK/ROUTLEDGE, 1988

74



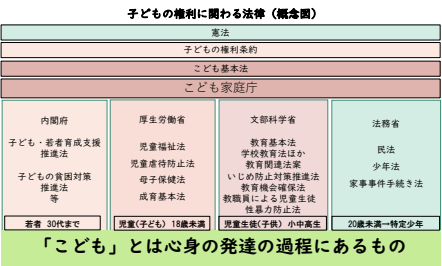
75



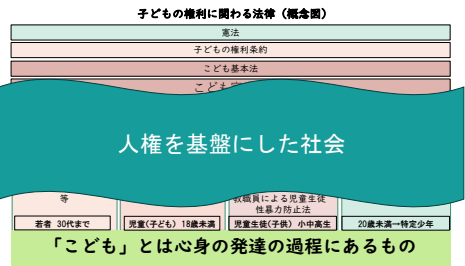
78



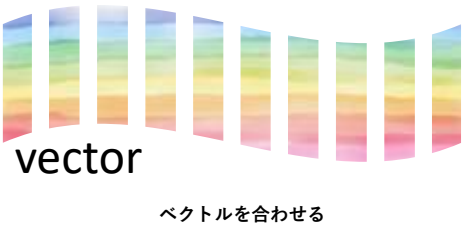
79



80



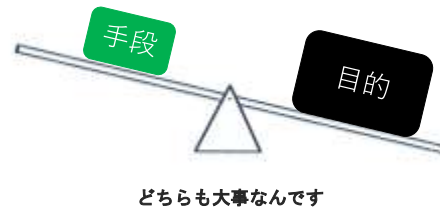
81



82

ベクトルを合わせる  
手段も合わせる

83

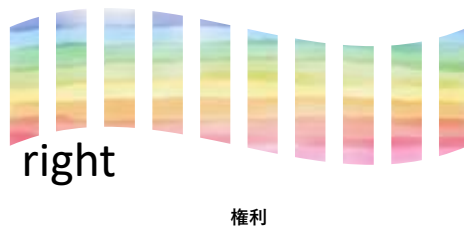


84

どのような扱い方をされたか、を  
子どもたちは体験学習して暮らしていきます。



85



86

子ども：ねえ、権利ってなに？教えて。



87

1789年 人間と市民の権利宣言  
**権利 (right)**

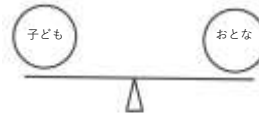
- 人権＝人が人として生きていくのにないと困るもののこと (human right) ※義務や責任は不要
- ★子どもの権利条約の「権利」は人権を意味します。
- 市民権＝より豊かに暮らすためにある一定の対価（義務・責任・資格も含む）をもって得る権利

88

## 子どもは権利の主体者



89



子どもも当たり前に権利の主体者

90



91

私たちは「4つの原則」に従って考え行動することによって達成されます。  
おとなは、次の原則を胸に、子どもの権利を守ります！

社会とおとながしないと、いけないこと

**生きる権利**  
子どもは生きていく権利があります。生きていくためには、食料、水、住居、医療、教育などが必要です。国や地域は、子どもが安心して生きていけるように努めます。

**子どもの最善の利益**  
子どもは生きていくだけでなく、最善の利益があります。子どもは、安全、健康、幸せに暮らす権利があります。国や地域は、子どもの最善の利益を守ります。

**差別の禁止**  
子どもは、性別、民族、宗教、障害、経済状況などによって差別されず、平等に暮らす権利があります。国や地域は、差別をなくすために努めます。

**子どもの意見の尊重**  
子どもは、自分の意見を持つ権利があります。国や地域は、子どもの意見を取り入れ、子どもが安心して暮らす権利を守ります。

4つの原則は「子どもの権利条約」(1989年採択)にも盛り込まれています。

©子どもNPOセンター提供 コドモのたたりプロジェクトワークブックより引用

92

「このパンを食べていい？」と聞いています。  
「権利」という言葉を使用して答えてみて。



もちろん！

A君には  
食べる権利が  
あるわよ。

93

3人が「このパンを食べる権利あるよね？」と同時に言いきました。どうする？



94

3人が「このパンを食べる権利あるよね？」と同時に言いに来ました。どうする？



95

あなたの上司の顔にケチャップがついてる!?

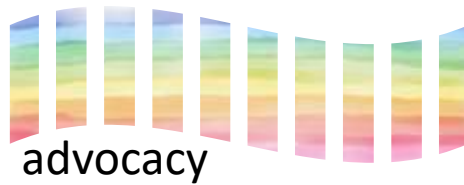


96

子どもの顔にケチャップがついていたら？！



97



アドボカシー ※配布資料も参考になさってください。

98

子どもの権利啓発

## 子どもの意見表明支援

意見形成支援

意見表明支援

「話す」をお手伝い

「届ける」をお手伝い

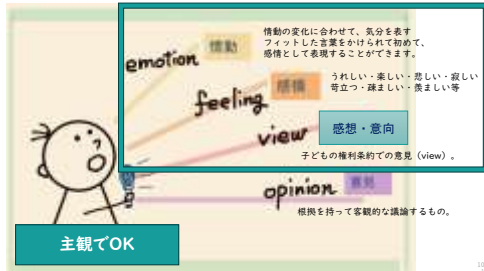
99

## 子どもの意見表明支援

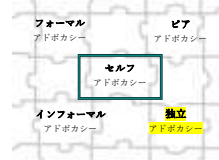


意見？！

100



101

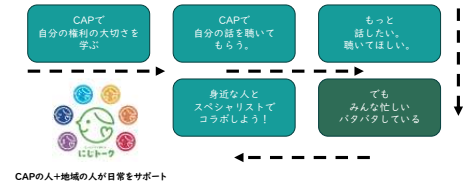


### セルフアドボカシー力を 高める

- ・ フォーモラルアドボカシー  
制度的  
職業として関わる人が行うアドボカシー
- ・ インフォーマルアドボカシー  
非制度的  
縁が通って関わる人が行うアドボカシー
- ・ ピアアドボカシー  
仲間としてのアドボカシー
- ・ 独立アドボカシー  
利害関係のないトレーニングされた第三  
者が行うアドボカシー

102

### CAPプログラムと連動した アドボケイト派遣事業を始めました・・・



103

### CAPプログラムと連動した アドボケイト派遣事業を始めました・・・



104

### CAPプログラム

- ・ CAP教職員ワークショップ
- ・ CAP地域保護者ワークショップ
- ・ CAP子どもワークショップ



### にじトーク

- ・ 学校の昼休みに訪問して、子どもたちの自由な自己表現の場を作り出す
- ・ トークスタッフ

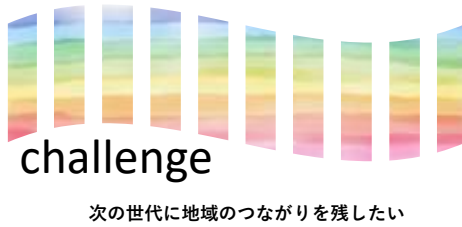


105

### CAPプログラムと連動した 学校アドボケイト派遣事業「にじトーク」



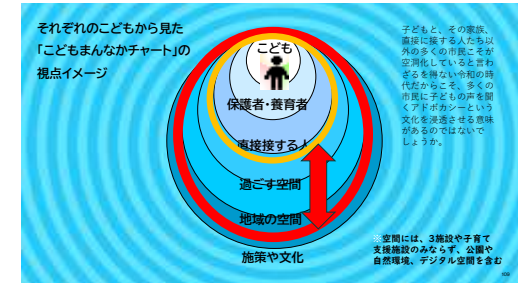
106



107

## 助成金を 活用した計画と経過

108



109

2023年

### 日本財団（1年目）



- ・プロジェクトチームを立ち上げた
- ・子どもたちの「強さ」に注目をしたロゴやポスターを作成した
- ・全国どこでもやれるような学校アドボカシーを目指して実証実験を開始
- ・久留米市内の5校と児童養護施設3施設
- ・児童養護施設が校区にある小学校で施設と同時に実施

110

### 2023年度 報告書



111



- ・実施校の4年生以上の子どもたちには1枚ずつチラシを配布
- ・学校に負担をかけない
- ・守秘義務等も含めて確認書を書かず

112



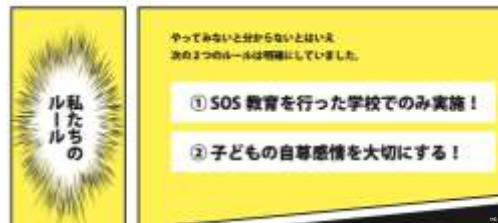
113



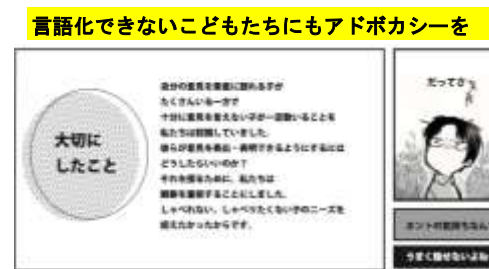
114



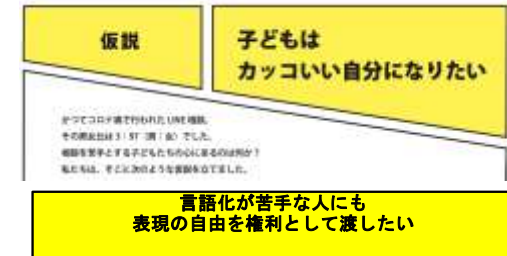
115



116



117



118





125



126



127



128



129



130



131



132



133



134



135



136



137



138



139



140

2024年

日本財団（2年目）

Supported by  
日本財団  
THE NIPPON  
FOUNDATION

- 1年目の久留米市内の小学校から佐賀市・福岡市でも実証実験
- CAPプログラムと連動した取り組みから
- にじトークからCAPプログラムへの報告性も視野に
- 地域の違いを超えた汎用性を高めるために実証実験

141

合意事項の確認書もリスク管理も



142

どんな気持ちもOK  
ロゴも決まりました！



143

日本財団 2024年度  
4月～7月5校 / 9月～3月7校 実施

2,203人

148

児童養護施設3施設

300人

151

日本財団2024年度

にじトークにくる子どもたちのニーズ

来場者数	2203人
聴いて聴いて	808エピソード
アドバイスがほしい 伝えて	64エピソード 20エピソード
342グループが来て、約802人以上の子どもが、大人と話した。	
みてて	約1401人

152

「にじトーク」を導入した学校の先生たちの  
アンケート

・日本財団事後アンケート結果

施設	人数	「にじトーク」について子どもたちが疑問にしているのを 聞いたことがありますか？		事業書の成果に今後期待をしますか？	
		はい (76.5%)	いいえ (23.5%)	とても期待	期待していない
17	13			3	
	4			13	
教職員	42			17	
	12			36	
54	42			17	
	12			36	
	42			17	
	12			36	

155

2024年度の計画を遂行

- ・2024年4月 福岡市・久留米市・佐賀市の3ヶ所で  
養成講座（2日間）実施—98名の参加  
うち活動登録をした人—25名

- 1) 理解できた/まあまあ理解できた97.4%
- 2) もっと学びたい74.2%
- 3) 学校アドボカイトをやりたい67.5%

目標の満足をした人80%を達成

- ・6月 にじトークの見学実習、ZOOMでのOJT
- ・7～8月 対面での研修
- ・9月 トークスタッフとして活動開始！
- ・毎月 ZOOMでの振り返り

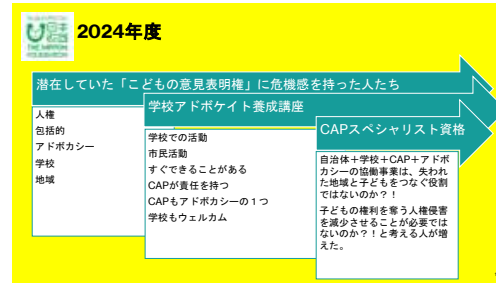
156

## CAPスペシャリストも増えました！

18名

- 学校アドボケイト養成講座を受講後、さらに認定NPO法人CAPセンター・JAPAN主催「子どもへの暴力防止基礎講座3日間21時間」「CAPスペシャリスト養成講座3日間21時間」受講
- 新しいCAPスペシャリストの仲間たちも増えました！

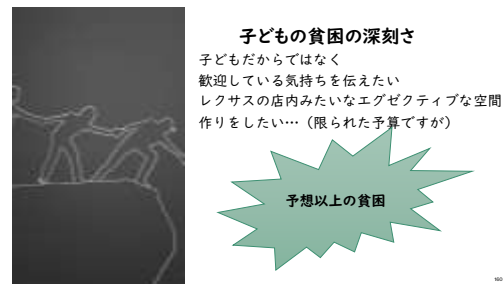
157



158



159



160



161



162



### 子どもたちが感激

制限をかけずに使用して良い「にじトーク」の状態に子どもたちは非常に感激をしました。私たちが思っていた以上に、子どもの世界の貧困が深刻化していると感じました。もしかしら経済的には問題ない世帯であっても、子どもにかかる時間や注意も欠如しているのかもしれない。

163



おとなが求める  
「いい子」に  
疲れている

### 子どもたちが興奮

- ・トーキングスティックのつもりだったけれども・・・
- ・「悪い子ちゃんアピール」のアイテムに・・・

164



「ぬいぐるみ」の取り合う姿を観て、ぬいぐるみは彼らの「権利の象徴」なのかもしれない、と感じた。  
喧嘩をさせないおとなではなく、安全に喧嘩ができる場所も必要ではないのだろうか。CAP子どもwsで「人の権利を取らなくても自分の権利は守れるよ」を練習している気がしている。

165

## 運営するための 現、課題

166



### 地域ボランティアの参加

子どもが住むエリアの「子ども観」「地域」に「子どもアドボカシー」の文化をつくりたい！という願いで取り組んでいる事業→地域ボランティア（トークスタッフ）

久留米市の子どもたちのために活動している人たちの居住地  
→ 現在は福岡市・筑後市・熊本市・佐賀市・北九州市・大野城市・春日市・筑紫野市

167



### 地域ボランティアの参加

子どもが住むエリアの「子ども観」「地域」に「子どもアドボカシー」の文化をつくりたい！という願いで取り組んでいる事業→地域ボランティア（トークスタッフ）

久留米市の子どもたちのために活動している人たちの居住地  
→ 現在は福岡市・筑後市・熊本市・佐賀市・北九州市・大野城市・春日市・筑紫野市

うれしいけど目的と違う！

168

## どんな職種の人が来ているのか？

- ・児童福祉施設  
心理治療施設  
自立援助ホーム  
乳児院
- ・民生主任児童委員
- ・自治体職員
- ・塾講師
- ・子どもの居場所事業者
- ・他エリアの社会的養護の  
アドボケイト
- ・子育て中の人
- ・演劇をしている人
- ・など

169

## どんな職種の人が来ているのか？

- ・児童福祉施設  
心理治療施設  
自立援助ホーム  
乳児院
- ・民生主任児童委員
- ・自治体職員
- ・塾講師
- ・子どもの居場所事業者
- ・他エリアの社会的養護の  
アドボケイト
- ・子育て中の人
- ・演劇をしている人
- ・など

170

## どんな職種の人が来ているのか？

- ・児童福祉施設  
心理治療施設  
自立援助ホーム  
乳児院
- ・民生主任児童委員
- ・自治体職員
- ・塾講師
- ・子どもの居場所事業者
- ・他エリアの社会的養護の  
アドボケイト
- ・子育て中の人
- ・演劇をしている人
- ・など

チャリで行けるくらいの  
距離の人たち求む！

171

## トークスタッフのモデル

1. 安心  
子どもが安心できる近くのおとな
2. 自信  
他者の意見を受け取ることができる  
子どものモデルになれる強いおとな
3. 自由  
子どもと対等に付き合える選択肢になれる  
おとな



確かな手応え

172

アドボケイトに徹している「トークスタッフ」の  
見事なまでの「こども中心」

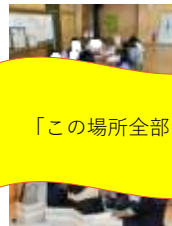
174



おとなに「見守られながら過ごす」  
アタッチメントの補完



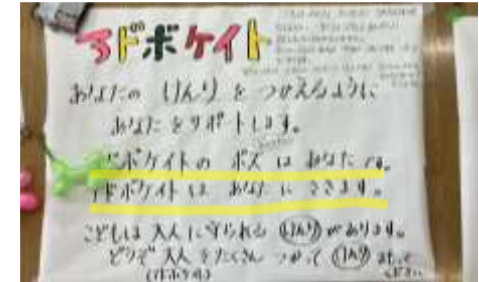
175



おとなに「見守られながら過ごす」  
アタッチメントの補完

「この場所全部がいいんだ」「ハコ推し」

176



177

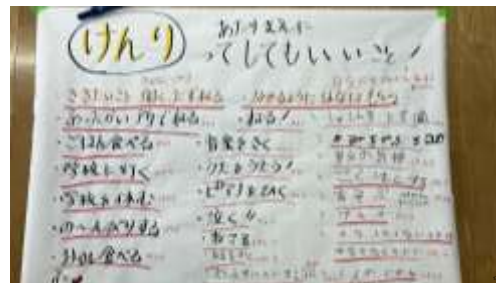
#### 2025年度の目標

来場する子どもに「アドポケットのポスはあなた」だと  
積極的に伝えられる場にしていきます。

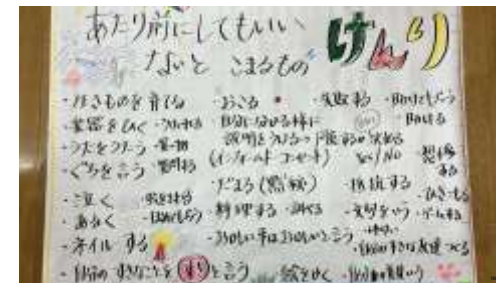
- 権利について知らせる
- 説明責任
- 子どもが選ぶ・決める
- 子どもの意見をどのように扱うのか知らせる
- 困りごとがあった場合には、誰が聴いてくれるのか伝える
- その結果を子どもたちに「どこに」「どんなふうに」知らせる  
かも事前に伝えておく。

アドボカシーの役割向上を目指す

178



179



180

CAPとアドボケイトは相性がいい！

「2つのCAPおとなワークショップ」が鍵

1. 日本で、アドボカシー文化を広げるには、「それが当たり前で、ないと困るもの」という権利ベースがないと拡がらない。
2. にじトーク会場全体が、「あんしん・じしん・じゆう」を保障できる空間でないと子どもは大人と話す選択肢をえらばない。
3. 日常生活の中で「あんしん・じしん・じゆう」な時空間を提供できる大人が増えれば、子どもが大人にSOSを出しやすくなる！

181

にじトークの掲示板



182

こどもたちの声 ～アンケートから～

にじトークは、自分の話をゆっくり聞いてくれる	中学校にもぜひ来てください！	時間が短いのが残念！	楽しい気持ちが残るから好き
気軽にお話しできて話しやすいからいい	ぬいぐるみで遊んだり、絵を描いたりして楽しかった	絵を描いたりして遊んだのが楽しかった	人形であはれるのが楽しい！

183

子どもたちの声～インタビューから～

- ・大人に話すと、泣いたもん勝ちだったもん勝ちになる。だからここで話したいと思う。（丸ごと聞いてくれるから）
- ・ここは、大人が話をまとめないからいい。
- ・みんなでワイワイできるからいい。
- ・先生に相談できないことを相談できるからいい。
- ・自分がされて嫌なことを話せるからいい。
- ・タメ口で話せるからいい。
- ・気軽に話せる。
- ・やさしい（やさしそうに見える、話し方がやさしい。）
- ・どんなことも笑顔で聞いてくれる。
- ・一緒に考えてくれる。
- ・ここは、居心地が良いから来る。

184

エピソード 6年生

・もうすぐ修学旅行。おこづかいの5,000円は全部使った方がいいか、残した方がいいか。

185

エピソード 3年生

誰にも言わないことがある。  
嫌なことは言わずに我慢している。  
ストレス解消したいけど方法が思いつかない。

ぬいぐるみをパンチしながら今の怒りやモヤモヤを吐いてくれた

186

## エピソード 小学校2年生

お家のことです。お父さんがいつもお酒をのんで、いやなことを言ったりするのがいや。お母さんにも嫌なことをいう。お母さんはお父さんと離れた方がいいと思っている。私もそうしたほうがいいと思っている。

注）プライバシー保護のためディテールを変えて掲載しています。

187

## トークスタッフさんの変化～インタビューから～

- ・90代の親に対して、にじトークで話そうに少し、待てるようになった！？
- ・思春期の子どもが自分に、愚痴を話そうになった。私の聞き方スキルUPした！？
- ・子どもの見え方変わった
- ・にじトークが仕事にも生かされている！

188

選ぶ・決める権利の自由の先に生まれてきた

## 自主性を発揮したい 子どもたちの姿

189



### 自主性を発揮したい子どもたち

子どもたちが自主的に活動できる環境を  
つくっているにじトーク

190



ねえ、にじトーク  
私たちもやるよ！だから大丈夫！

ねえ、私もトークスタッフできると思う。  
だからね。みんな（おとな）がいなくても  
大丈夫だよ。  
ここの学校の子たちは任して！

トークスタッフ役を見事にこなす子どもたち登場！！

191



今日は、  
私「にじトークの人ね」

今日は、私が受付するね！

「こんにちはようこそ。にじトークへ。」

「今日お話しできる人は〇〇さんと〇〇さんですよ。みんなどうぞ。」

コンシェルジュ役を見事にこなす子どもたち登場！！

192



今日はあなたの話を  
聞きます！さあ、どうぞ！

スタッフの定位置に座り、大人に話しかける子  
どもたち。

同級生の話を犬のように黙ってき始める子ど  
もたち

トークスタッフ役を見事にこなす子どもたち登場！！

193



にじトークの支店を  
つくりました

あのね、私たち、教室でにじトーク始  
めたんだよ。

毎週水曜日の昼休みにやってるんだ！

運営役を見事にこなす子どもたち登場！！

194



195

私たちが想定する  
今後のあり方

196



地域住民との連携強化

持続可能な支援体制

校区内は守秘義務のことを考えると避けたい  
でも子どもにとって身近な大人にやってほしい

チャリで行ける範囲の大人を熱望

住民の参加促進

校区近くの大人たちに「にじトーク」のボラン  
ティアを担ってもらう

197

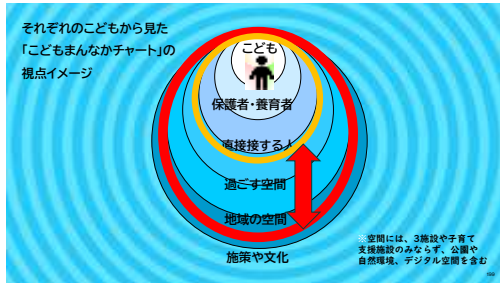


地域住民との連携強化

持続可能な支援体制

チャレンジの結果  
養成講座にも  
情報を整理して  
要点を伝えられるようになろう！

198

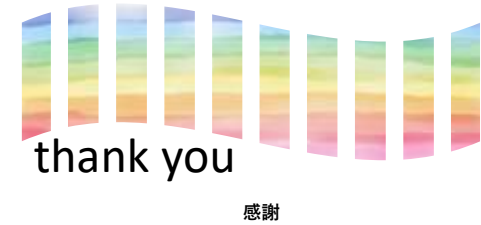


199



200

**重層的な関わりの一助に**  
重層的な関わりが必要な子どもだが、地域が関わるこ  
とへの難しさをクリアする一助に。  
また、要支援児童や要保護児童へのPCE（子ども期の  
良い体験）要因にもなり生涯にわたってリスクを減少  
させられる。  
**地区の全ての子どもたちに届けるために**  
人権は、当たり前にあること  
子どもには「聴かれる権利」が当たり前  
子どもの権利を保障するのは自治体の責務  
大人が自治体の責務を果たす共助は誇らしいこと  
**市＋市民＋NPO＋子ども参画**  
地域社会が子どもたちの成長に関与することは重要ですが、それ  
にはさまざまな難しさがあります。  
私たちは、地域が持つリソースを活用し、支援体制を強化するた  
めに、自治体のサポートが不可欠だと考えています。



201